



医師会シンボルマーク

# みんなの健康

みんなの健康 1 2006.5/6

予防接種の方法が変わりました  
こんな時と場所・明日へのあそび

「健診は開業医、分娩は病院で」  
今話題の「産科セミオープンシステム」

ルポ 国際親善総合病院

特集◆今、医療現場から——支える人々

No.193  
5・6月号

# 予防接種の方法が変わりました

## 平成18年4月から麻疹(はしか)、風疹は混合ワクチンによる2回接種となりました

■なぜ今回このように変更になったのでしょうか。

麻疹(はしか)は、ワクチン接種率の向上に伴いかかる方は減っています。しかしまだ年間20人程度の死亡者を出しています。麻疹(はしか)は、特効薬が無くワクチンで予防するのが一番です。また風疹ワクチンの接種率は学校での集団接種をやめてから低くなり、先天

性風疹症候群の赤ちゃんが少し増えていきます。又、どちらもワクチンを接種しても免疫のできない方もいらっしゃるやいますし、近年自然感染の患者さんの減少に伴い免疫が呼び戻される機会(ブースター)が減少し、ワクチン接種したのに、大きく出でてきています。そこで今までの1回接種では免疫を獲得できなかった方を減少させ、さらに生涯にわたる

強い免疫の維持を図ることを目的として両者の混合ワクチンを2回接種とすることになりました。先進国ではすでに混合ワクチンの2回接種が行われています。

■麻疹(はしか)はどのような病気ですか

麻疹ウイルスによる全身性感染症で、普通一度かかれば一生の免疫が得られます。免疫がなければおとな

常が発症する危険があります。全例に発症するわけではなく、妊娠中に風疹にかかることをさけるためにも妊娠する前に免疫をもつ必要があります。

■男の子にも予防接種の必要はありますか

はい。男の子でもまれに重症の合併症をおこします

し、おとなになつてかかるとかなり重くなる事が多いようです。又周囲にうつす可能性もありますので必要です。

### 平成18年4月からこう変わりました

麻疹(はしか)と風疹の混合ワクチン(MRワクチン)の定期2回接種が始まります。新制度では原則として1回目、**1歳から2歳になるまでの一年間**に、2回目、**小学校入学前の一年間**に接種します。

**新制度の問題点**：接種の対象期間が現在の1歳から7歳半までに比べて短いこと。またいずれか一方のワクチン接種を受けたか、どちらかにかかったことのある子は、MRワクチンの安全性が未確認で新制度の対象から外れることです。

#### 横浜市の経過措置について

横浜市では新制度から外れる方のために平成18年度(平成18年4月1日～平成19年3月31日の間)に限って以下の経過措置を実施します。

- (1) 生後12ヶ月～90ヶ月未満で麻疹(はしか)または風疹のいずれかのワクチンをすでに受けているか、どちらか一方の病気にかかった方：麻疹(はしか)および風疹いずれかの単抗原ワクチンを公費で任意接種します。
- (2) 生後24ヶ月以上～90ヶ月未満(ただし第2期対象になる方を除く)の方で麻疹及び風疹のいずれのワクチンも受けておらず、どちらの病気にもかかっていない方：麻疹(はしか)風疹混合ワクチンを公費で任意接種します。

※上記の経過措置の任意接種で健康被害が発生した場合には、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく救済となります。

不明の点はかかりつけ医、あるいは横浜市健康福祉局感染症課(☎045-671-2463)へお問い合わせください

#### 予防接種法による定期接種

第1期/生後12ヶ月～24ヶ月未満  
第2期/5歳以上7歳未満で小学校就学の始期に達する日の1年前の日から該当始期に達する日の前日までの間にある方

現行	生後12ヶ月から90ヶ月							
改正	1期	2期						
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳

経過措置(平成18年4月～平成19年3月)(公費、任意接種)

◆どちらかのワクチンを受けたか、かかった方は、麻疹か風疹一方の単抗原ワクチンを接種



◆いずれのワクチンも接種していない方、かかっていない方は、MRワクチンを接種



横浜市医師会 常任理事  
ほさか 保坂 シゲリ 先生

4月より麻疹(はしか)と風疹の予防接種は混合ワクチンの2回接種に変わりました。そこで横浜市医師会の予防接種などを担当する常任理事の保坂シゲリ先生(ことモクリニク若葉台)にお話を伺いました。

■風疹とはどのような病気ですか

風疹ウイルスによって感染する病気で、普通一度かかると免疫が得られます。一般にはかかっても軽い発熱や発疹が3～4日続いて比較的軽く治ってしまいきます。まれに脳炎などの合併症はありますし、おとなになつてかかるとかなり重い症状が出る場合が多いようです。又、妊婦が妊娠初期に感染すると出生児に先天性風疹症候群という先天異

ルポ 国際親善総合病院

# 「健診は開業医、分娩は病院で」今、話題の「産科セミオープンシステム」

最近分娩を扱わなくなる町の産婦人科医院が増えています。そうした中、「妊婦の健診は近くの開業医で、分娩は病院で」という産科セミオープンシステムが注目を集めています。日本ではまだ珍しい診療システムですが、一体どのようなものなのか。そこで、この制度を早くから採り入れている「国際親善総合病院」を訪ね、産科の現場を拝見しました。

相鉄いずみ野線の「弥生台駅」から、歩いて6分ほど。高級住宅街の入り口の一角に国際親善総合病院があります。

同病院が産科セミオープンシステムを始めたのは、国内でもかなり早く、平成2年の開院当初からです。この診療システムは、開業医と病院が連携して患者を診る。病診連携を基本とするもので、まず産婦人科の開業医が自分の患者さん（妊婦）を国際親善総合病院に紹介します。



常が見つかった場合は、直ちに病院側が万全の対応をとることになっています。ざっと以上が、国際親善総合病院の産科セミオープンシステムの内容ですが、病院側では現在、地元の泉区をはじめ、旭、戸塚、瀬谷区など近隣地域で開業する13人の産婦人科医と提携。妊婦の紹介や逆紹介（病院側から開業医へ紹介）を通して、産科の病診連携に力を入れています。

正面玄関を入って2階へ上がると、奥の方に産婦人科があります。同科のベッド数は全部で40床ですが、このうち27床が産科専用で常時、妊婦さんでいっぱい。隣接の保育室では、生後間もない赤ちゃんたちがスヤスヤと眠っています。

紹介された妊婦さんは、通常の定期健診は開業医の所で受け、妊娠20週と34週、さらに40週の節目健診の時だけ病院で診てもらいます。そして陣痛が始まったら、病院へ直接電話して入院。医療施設やスタッフの整った病院でお産をします。病院側は分娩の翌朝に、

「赤ちゃんが生まれた」とことを開業医に連絡。開業医は病院へ行き、母子と対面します。退院後の産後健診は開業医が担当。また産前であれば産後であれ、万一、母子に異

ところ、この産科セミオープンシステムを妊産婦さんたちはどのような見ているのでしょうか。戸塚区内の産婦人科医院から同病院を紹介され、男

の赤ちゃんを出産したばかりの清水秀子さんは「初めてのお産で、心配しましたが、セミオープンシステムのお陰で、近くの産婦人科と病院側と、複数のお医者さんに診てもらえて、とても安心できました」と、出産という大仕事を無事に終えてホッとした様子。

また、お産は二度目という小林照美さんも「分娩はやはり施設と人手の充実している病院の方が安心できます。それに退院後も何かあれば、いつでも診療所、病院双方の先生に気軽に相談ができるので、とても助かります」と、この新しい診療スタイルを歓迎しています。



## 多和田・産婦人科部長に聞く

開院以来、国際親善総合病院が力を注いできた産科セミオープンシステム。その特徴や今後の課題などを産婦人科部長の多和田哲雄先生に聞きました。

産科セミオープンシステムは好評のようですね。

多和田 お産をやめる産婦人科医院が増えたため、「その受け皿に」と始めた制度ですが、お陰様で妊婦さ



んと開業医の双方に喜んでいただいています。妊婦さんへのアンケート調査でも、7割強の人が「セミオープンシステムでお産をして良かった」と回答しています。

セミオープンシステムの一番の魅力は何ですか。

多和田 妊婦さん・開業医・病院の3者にメリットが

あることです。

妊婦さんの場合は、ふだんの定期健診が最寄りの産婦人科医院で受けられるので、通院が便利です。また開業医と病院の医師の双方に診てもらえるため、異常などの見逃しが減るうえ、万一の場合は、すぐに病院

に入院ができます。一方、開業医は入院設備を持たずに産科診療ができます。また夜間・休日は確実に休めるため、医師本人はもとより、家族の負担も軽減されます。

さらに、病院にとっても、妊娠20週や34週などの節目健診だけでなく、外来診療の省力化が図れるメリットがあります。同時に、連携している開業医に非常勤医として外来診療の一部を手伝ってもらうことも可能で、すし、診療圏の拡大にもつながります。

これからの課題は？

多和田 今は一人の妊婦さんに対し、開業医と病院で二つのカルテがあります。将来は電子カルテ化を進め、これを一本化すべきでしょう。またキャパシティの問題もあります。当院の分娩数は月に100件近くあり、これ以上の受け入れは難しくなりつつあります。今後はもっと他の総合病院にも、産科セミオープンシステムが広がることを期待しています。

# こんな時 どうする

どなたも一度は捻挫を経験したことがあるでしょう。スポーツ安全協会のスポーツ中の傷害に関する統計によれば、スポーツ中の傷害の約3分の1は捻挫で、なかでも足の関節の捻挫が多く、スポーツ活動中に発生する最も頻度の高いけがとなっています。

## 捻挫ってなに

関節に大きな外力が加わり、関節を支持する靭帯などの組織を損傷することをいいます。足の関節では、関節の外側をのばすような状態で受傷することが多く、主に外くるぶしの前下方にある外側の靭帯を損傷しています。損傷はごく一部の場合から、完全に靭帯が断裂し関節がぐらついてしまっている状態のこともあります。

## 応急処置はどうするの

# うちの子どもが 足の捻挫をしたようですが



小田医院 小田治男先生

## 応急処置の基本で

あるRICEを。安静(Rest)。腫れや痛みのある部分を冷やし(Icing)、さらに圧迫(Compression)し、足を挙上(Elevation)しましょう。痛みが強ければ、何を用いてもかまいませんから足首を固定してあげてください。

## 捻挫くらすと

“捻挫”と聞いてしまうと大きなけがという感じがないうです。しかし、“捻挫しました”

と

いつて来院される患者さんも、包帯やテーピングで様子を見られるような比較的軽傷なものから、関節のぐらつきがありギプスでの固定や手術を要するもの、さらには実は捻挫ではなく骨折していたということもあるのです。まだ骨格の完成していない子どもでは、靭帯そのものではなく靭帯が付いている骨あるいは軟骨の部分が剥がれてしまうことや、外くるぶしにある成長軟骨を損傷していることもありま

す。ギプスや松葉杖などと言

うとびっくりしてしまいかたが多いのですが、中等度以上の捻挫は“靭帯損傷”でも重要で、これにより腫れがより早く消退し、ぐらつきがある程度回復することが多いのです。子どもの場合、歩けるから、あるいは練習や試合を休みたくな

いと、痛みを訴えず充分な安静が保てないことが多いようです。保護者の方が患部をみてあげることが大切です。捻挫をしていない反対側の足首と比較してみてください。

捻挫をしてしまったら、まずRICEをはじめとする応急処置を。そして、少しでも腫れや痛みがあれば捻挫くらいでなどと思わず、すみやかに整形外科医を受診してください。

# 医療費 引き下げと 国民負担増

平成18年4月1日から診療報酬が引き下げになった。引き下げ幅は過去最大の3・16%。単純に考えると、病院や医院の窓口での支払い額が幾分安くなり、医療機関の収入が減ることになる。患者負担が減って国民にとっては喜ばしいことかというところではない。同時に施行された障害者自立支援法によって、障害者の方たちにとってこれまで無料であった医療費が1割自己負担になった。所得によって支払いの上限額が定められたものの負担は相当に重い。介護保険料も4月から値上がりし、昨年10月からは介護保険施設に入所している高齢者の食費と居住費が自己負担となっている。



突然の脳こうそくから  
“奇跡の生還”

五霊神社 権宮司  
本多 誠さん(54歳・戸塚区)



51歳、予期せぬ病に倒れる

私は戸塚で代々続く神社の家に生まれ、20歳の頃より神職の道に入りました。

その一方で、横浜戸塚ロータリークラブやNPO活動にも従事。より良い地域社会をつくるために、微力ながら頑張ってきました。幸い健康に恵まれ、毎日の生活はとても充実したものでした。



ところが、51歳になった矢先の3年前の初夏、突然、病魔に襲われました。脳こうそくです。私は朝風呂を日課にしており、その日も起床後、すぐに入浴しました。しかし、風呂から上がると、急に足元がふらつき、立ってられません。異変を感じた私はすぐに家人を呼び、救急車で病院へ搬送されました。

記憶があるのはそこまで。気づいた時は病院のベッドの上でした。家人の話では、意識不明の危篤状態が5日も続き、文字通り“奇跡の生還”だったようです。

しかし、それからがまた大変でした。九死に一生を得たものの、左脳をやられた後遺

症で、右の手足が動きません。加えて、構語障害と言って、考えていることが上手く言葉になりません。重い障害を抱え、絶望の淵から突き落とされた思いでした。

再起を誓い、リハビリに励む

でも、まだ50代。人生はこれからです。「病に負けてたまるか」と再起を誓った私は、懸命にリハビリに励みました。



退院すると、すぐに磯子の横浜市立脳血管医療センターへ。ここで3カ月間、リハビリ漬けの日々を送りました。つらい訓練に耐えた結果、ほんの少しずつですが、失われた手足の機能が回復。言語障害も改善されていきました。

これに自信を得て、さらに

リハビリに弾みがつき、今も毎朝の犬の散歩の途中に、不自由な右手でゴルフクラブを振ったり、プールで歩く訓練を続けています。

「拾った命」、地域に役立つ人生を

それにしても脳こうそくで倒れるとは、自分でも全く予期せぬことでした。私は血压は低い方だし、肥満体でもありません。酒も飲まず、健康には大いに自信があったのです。それなのになぜ？

疑問は深まるばかりでしたが、よくよく考えると、当時は毎日が多忙でした。睡眠時間も少なく、きっとストレスが溜まっていたのでしょう。

一病息災。せっかく「拾った命」ですから、これからは健康を大切に、社会への恩返しのため、地域に貢献できる有意義な人生を送りたいと願っています。

国は将来、高齢者の医療費3割自己負担、長期入院高齢者の食費・居住費自己負担、23万床の療養病床廃止等を計画し、財政削減を大義名分にさらなる国民負担増を強いる予定だ。黙って見ている訳にはいかない。(たまちゃん)

## 訪問看護ステーション 看護師の募集

横浜市内19ヵ所にある各区医師会立のステーションで、訪問看護に従事して下さる看護師(常勤・非常勤)を募集しております。詳細は次の連絡先へお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ先】

横浜市医師会事業三課 ☎045・201・7366

## TVKテレビメディカルチェック 「みんなの健康」

### 5・6月の放送予定

5月 ★19日 認知症(1)

★26日 認知症(2)

6月 ★2日 消化器がん(1)

★9日 消化器がん(2)

★16日 女性の排尿障害の対策(1)

★23日 女性の排尿障害の対策(2)

★30日 夏休みのこどもの事故(1)



毎週金曜日午後1時19分より

(生放送のため、多少前後のずれがあります。ご了承下さい。)

## ～かかりつけ医をお探しの方～

# かかりつけ医 検索ホームページ

<http://kakaritukei.yokohama.kanagawa.med.or.jp/>

様々な条件(診療科目・地域・駅名etc.)をクリックすることにより、お探しの医療機関を検索できます。

## 地域医療連携センター ☎045-201-8712

運営時間：午前9時～12時／午後1時～5時  
月曜～金曜(土・日・祝日を除く)

お近くの医療機関を電話でご紹介いたします。また、ご希望により診療所や病院の情報と地図をFAXで送ります。

## 休日・夜間に急病になった場合は

### 休日の昼間はこちらへ

内科・小児科 診療時間：午前9時～12時 午後1時～4時

- 青葉区休日急患診療所 ☎(045)973-2707
- 緑区休日急患診療所 ☎(045)937-2300

内科・小児科・歯科 診療時間：午前10時～午後4時

- 金沢区三師会立休日救急診療所 ☎(045)782-8785
- 戸塚区休日急患診療所 ☎(045)852-6221

内科・小児科 診療時間：午前10時～午後4時

- 横浜市旭区休日急患診療所 ☎(045)363-2020
- 横浜市瀬谷区休日急患診療所 ☎(045)302-5115
- 泉区休日急患診療所 ☎(045)801-2280
- 都筑区休日急患診療所 ☎(045)911-0088
- 横浜市磯子区休日急患診療所 ☎(045)753-6011
- 鶴見区休日急患診療所 ☎(045)503-3851
- 神奈川区休日急患診療所 ☎(045)317-5474
- 中区休日急患診療所 ☎(045)622-6372
- 横浜市港南区休日急患診療所 ☎(045)842-8806
- 西区休日急患診療所 ☎(045)322-5715
- 港北区休日急患診療所 ☎(045)433-2311
- 保土ヶ谷区休日急患診療所 ☎(045)335-5975
- 栄区医師会休日急患診療所 ☎(045)893-2999
- 南区休日急患診療所 ☎(045)731-2416

### 毎日の夜間はこちらへ

- 横浜市夜間急病センター ☎(045)212-3535  
横浜市救急医療センター1・2階  
内科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科：午後8時～午前0時
- 横浜市北部夜間急病センター ☎(045)911-0088  
都筑区休日急患診療所1階 内科・小児科：午後8時～午前0時
- 横浜市南西部夜間急病センター ☎(045)806-0921  
泉区休日急患診療所 内科・小児科：午後8時～午前0時

神奈川県医師会中毒情報相談室【24時間対応】  
☎(045)262-4199

横浜市救急医療情報センター【24時間対応】  
横浜市救急医療センター3階 ☎(045)201-1199

#### 横浜市歯科保健医療センター

休日・夜間救急歯科診療 ☎(045)201-7737  
休日診療：午前10時～午後4時 夜間診療：午後7時～11時

### 午前0時以降の 内科・小児科の初期 救急診療に対応する 「拠点病院」

- 横浜市立市民病院 保土ヶ谷区岡沢町56 ☎(045)331-1961
- 横浜市立みなと赤十字病院 中区新山下3-12-1 ☎(045)628-6100
- 横浜労災病院 港北区小机町3211 ☎(045)474-8111
- 済生会横浜市南部病院 港南区港南台3-2-10 ☎(045)832-1111
- 昭和大学横浜市北部病院 都筑区茅ヶ崎中央35-1 ☎(045)949-7000
- 国立病院機構横浜医療センター 戸塚区原宿3-60-2 ☎(045)851-2621